



2021年5月13日

各位

会社名 株式会社富山第一銀行
代表者名 取締役頭取 野村 充
(コード番号7184 東証第一部)
問合せ先 取締役 田中 豊
総合企画部長
(TEL. 076-424-1219)

「第15次中期経営計画」の策定について

当行では、新型コロナ禍におけるお客さまへの支援を最優先に取り組むために、第15次中期経営計画の公表を見送っていましたが、今般策定が完了しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 基本理念

地域とともに。さらなる信認、さらなる進化を

2. キャッチフレーズ

MOVE BY A SENSE OF MISSION

-当行の持続的な発展への使命感に基づく行動を起こす-

3. 計画期間

令和2年度から令和4年度までの3年間

4. 基本方針

- (1) 富山第一銀行は、連結子会社および関係会社を含めた総合的な金融グループとして、幅広い金融サービスをお客さまに提供することにより、お客さまの多様なご要望にお応えします。
- (2) 富山第一銀行グループは、お客さま本位の業務運営を基本とし、役職員一人ひとりがイノベーションを意識し、さらにスキルアップすることにより安心・安全で利便性が高い地域金融機関グループを目指します。
- (3) 富山第一銀行グループは、健全な地域金融機関を核として地域経済の発展に寄与するため、確固たる経営基盤を維持します。

5. 戦略の概要、計数目標等

別添の資料をご覧ください。

以上

本件に関する問い合わせ先
総合企画部 経営企画グループ 本島
(TEL : 076-424-1219)

第15次中期経営計画の概要

◆ 当行の未来を切り拓くための3年計画 『BRIDGE TO THE FUTURE』

(2020.4～2021.3)

新型コロナウイルス禍において、第15次中計の公表を見送り、顧客支援を最優先に取り組む

第14次中計 (2017.4～2020.3)

- ・マーケット・チャネルに応じた本部再編
- ・店質改革
 - ▶ お客さまのニーズに柔軟に対応し得る組織体制の構築

第13次中計 (2014.4～2017.3)

- ・本店の移転新築
- ・東証一部上場
 - ▶ 当行の10年後の姿を展望した経営体質のステージアップ

第15次中期経営計画

基本理念

地域とともに。さらなる信認、さらなる進化を

キャッチフレーズ

MOVE BY A SENSE OF MISSION
 - 当行の持続的な発展への使命感に基づく行動を起こす -

計画期間

2020年4月1日～2023年3月31日
 (令和2年度～4年度)

基本方針

- (1) 富山第一銀行は、連結子会社および関係会社を含めた総合的な金融グループとして、幅広い金融サービスをお客さまに提供することにより、お客さまの多様なご要望にお応えします。
- (2) 富山第一銀行グループは、お客さま本位の業務運営を基本とし、役職員一人ひとりがイノベーションを意識し、さらにスキルアップすることにより安心・安全で利便性が高い地域金融機関グループを目指します。
- (3) 富山第一銀行グループは、健全な地域金融機関を核として地域経済の発展に寄与するため、確固たる経営基盤を維持します。

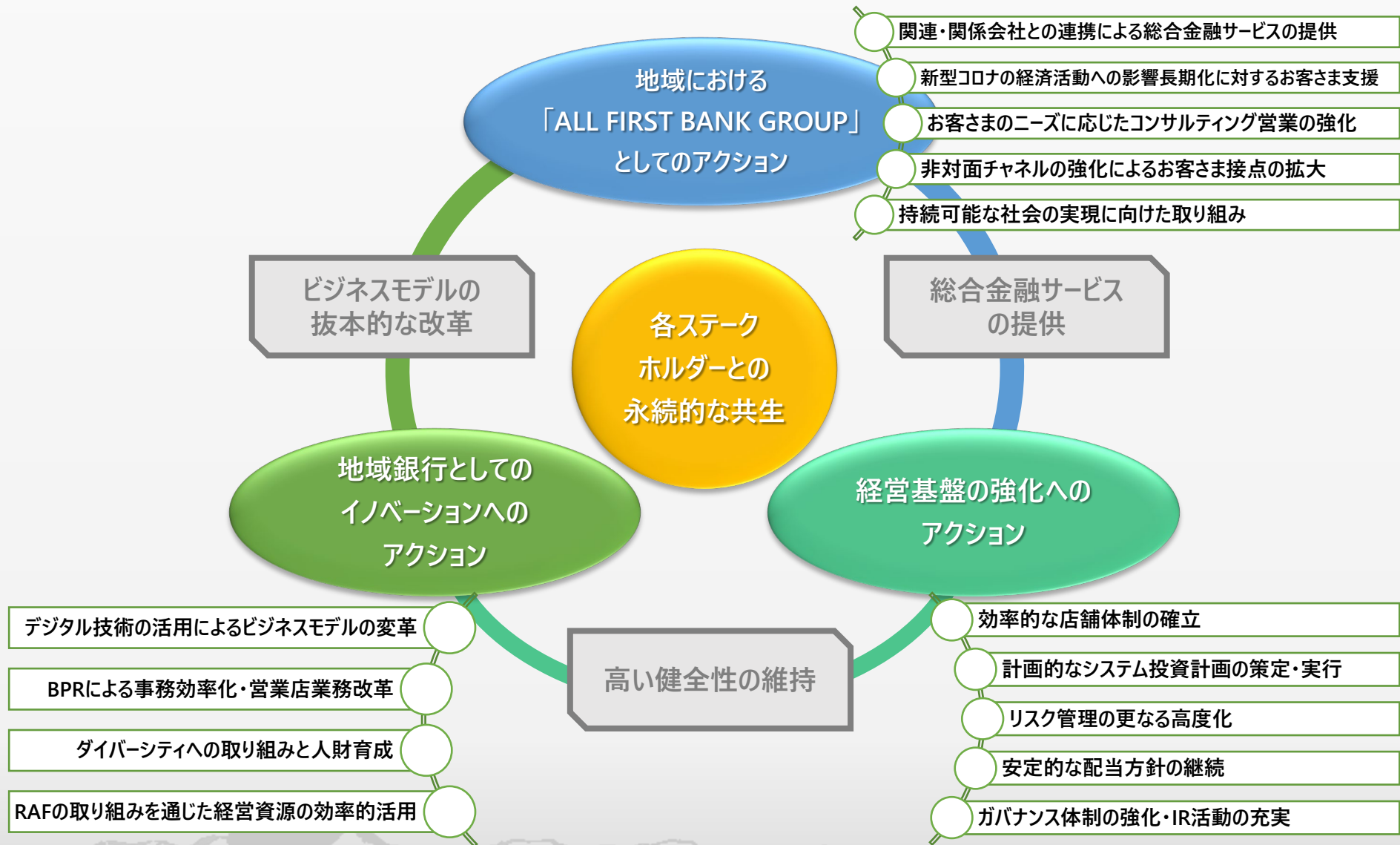
第16次中計以降 ～

安定した収益基盤・財務基盤を維持し、お客さま・株主・地域から信頼され、成長する地域銀行であり続ける



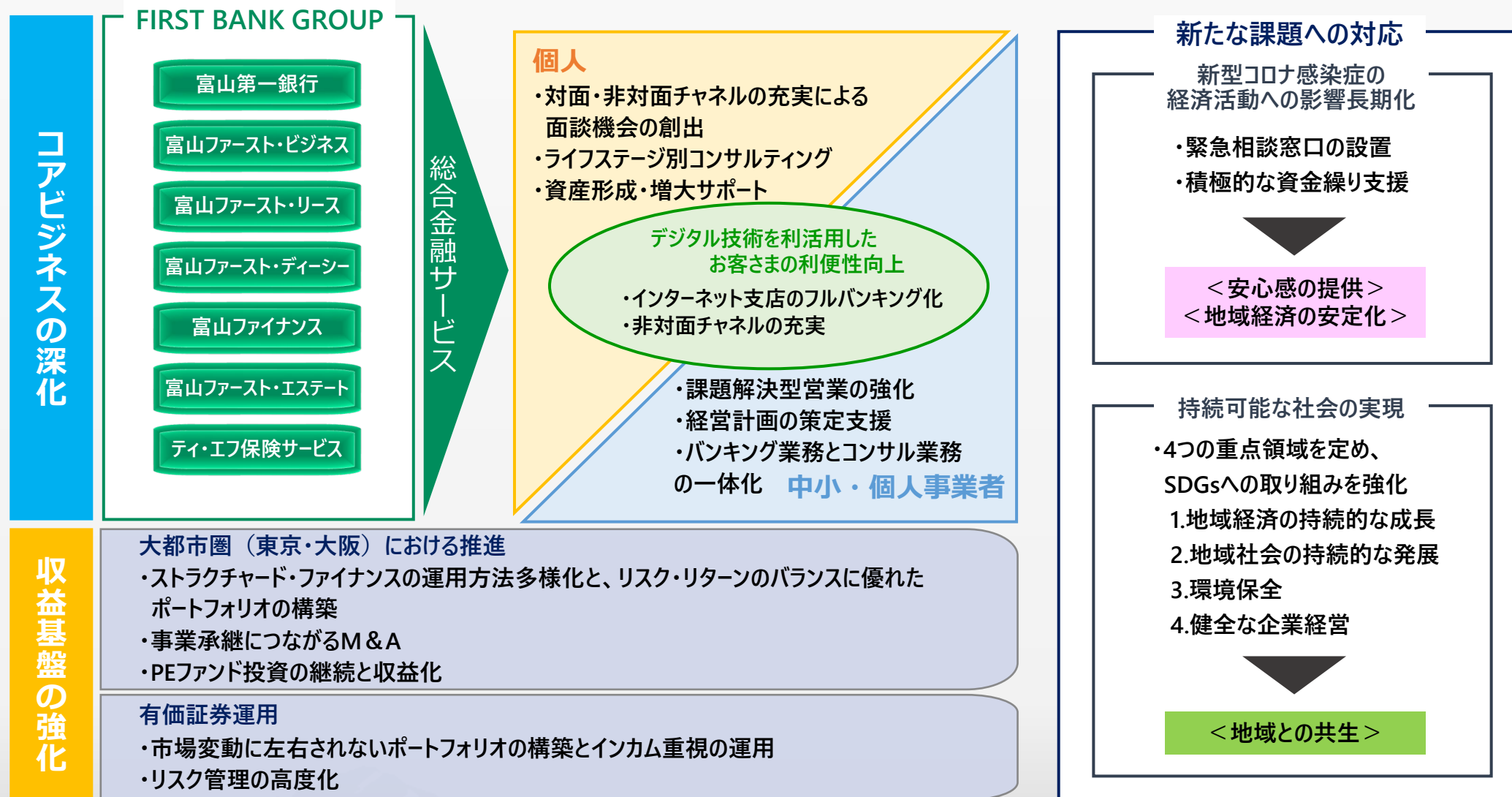
第15次中期経営計画の概要

◆ 3つのアクションへの挑戦



地域における「ALL FIRST BANK GROUP」としてのアクション

◆お客さまと地域の多様な要望にお応えできる総合金融サービスの提供機関として行動します。



3

地域銀行としてのイノベーションへのアクション

◆ 個々の役職員がイノベーションを意識し、業務プロセス改革とお客さまの利便性向上を目指し行動します。

総合企画部
ビジネスイノベーション室

- <使命>
- ・次世代勘定系システムの開発に向けた基本方針の策定
 - ・コスト構造の改革に必要な戦略の立案
 - ・当行ビジネスの革新、グループとの協働にかかる検討

営業店業務改革

- ・営業店業務のBPRの徹底
- ・バックオフィスのペーパーレス化
- ・本部集中業務の拡充
- ・セルフオペレーション、伝票レス化

イノベーション



お客さまの
利便性・満足度
向上

ビジネスモデルの変革

- ・Web取引完結
- ・スマホアプリの利便性向上
- ・ビッグデータの利活用
- ・キャッシュレス進展への対応

人財育成

- ・人材育成プログラムによる育成 (OFF-JT、OJT、外部出向、トレーニー、グループ内人材交流)
- ・ダイバーシティ ・効率的な人員配置

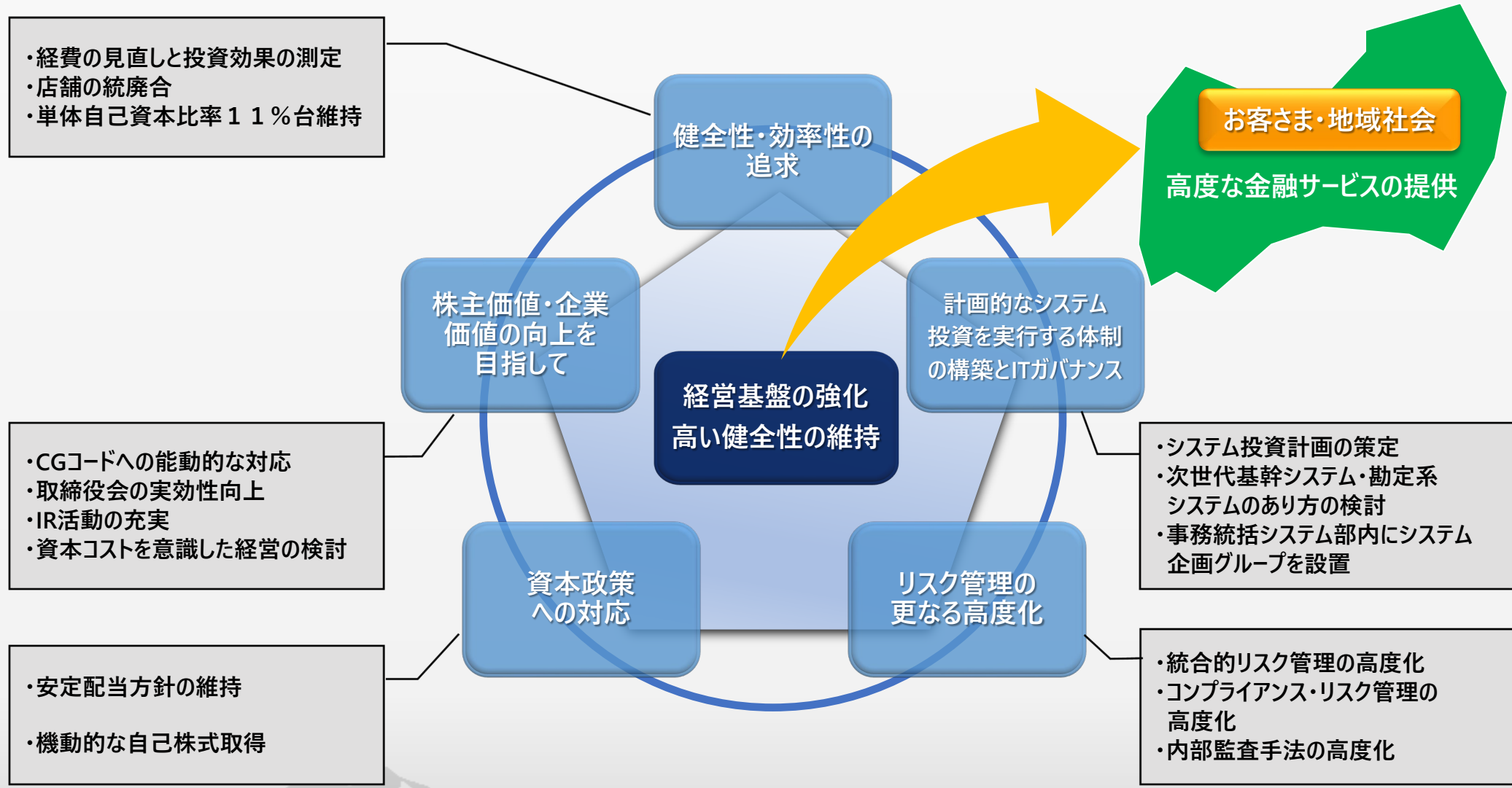
経営資源の最適化

- ・営業店別収益管理
- ・RAF (リスクアペタイト・フレームワーク) の運用とリスク管理の高度化

コントロール

経営基盤の強化へのアクション

◆ 確固たる経営基盤と高い健全性を維持し、地域のお客さまにより高度な金融サービスを提供し続けます。



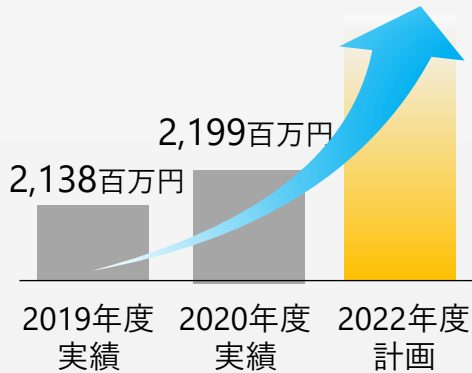
5

計数目標

- ◆ 長期的かつ安定的に金融サービスを提供していくための財務基盤と収益力を確保し、地域のお客さまに愛され続ける金融機関グループを目指します。
- ◆ お客さま本位の業務運営を継続し、健全性・収益性・効率性を更に高めてまいります。

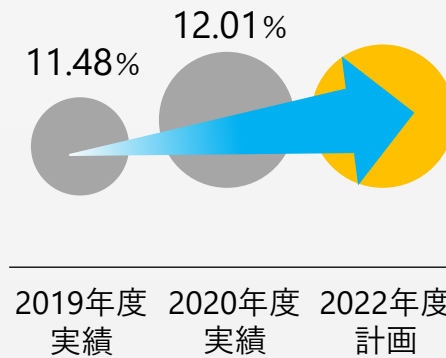
最終利益

25億円以上



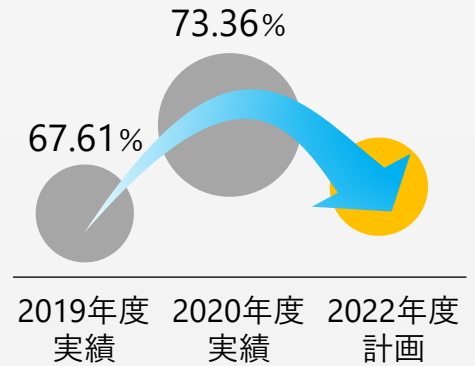
自己資本比率

11%以上



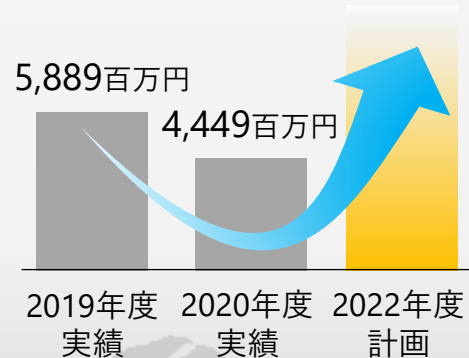
コアOHR

70%未満



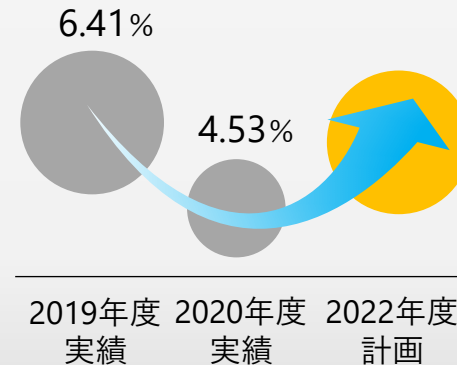
コア業務純益

50億円以上



コア業務純益ROE

5%以上



(計数は全て単体ベース)